

6 単位の記号

概要

大きな数字、たとえば1日を秒数で表現した「86400」のような数字を使用しなければならないのは、困難で、しかもエラーが起こりやすくなるので、適切な単位の記号（またはサフィックス）を使用してZabbix トリガー条件式やアイテムキーをシンプルにします。

「86400」のかわりに単に「1d」と入力できます。乗数としてのサフィックスの機能です。

時間の単位のサフィックス

時間に対しては、以下のサフィックスが使用できます：

- **s** - 秒（使用すると、生の値と同じ働きをします）
- **m** - 分
- **h** - 時間
- **d** - 日
- **w** - 週

時間の単位のサフィックスは、以下の中でサポートされています：

1. [トリガー条件式](#)（定数と関数パラメータ）
2. [内部アイテム `zabbix\[queue,<from>,<to>\]`](#) のパラメータ
3. [累計チェック](#)の最後のパラメータ

プリフィックスの記号

Zabbix サーバとフロントエンドの両方の、表示とトリガー条件式内（定数と関数パラメータ）で、以下のプリフィックス記号がサポートされています：

- **K** - キロ
- **M** - メガ
- **G** - ギガ
- **T** - テラ

フロントエンドで**B**や**Bps**以外のアイテム値が表示される場合は、10進数が使用されます（`1K=1000`）それ以外はどこでも、2進数が適用されます（`1K=1024`）

加えて、フロントエンドは以下の表示もサポートしています：

- **P** - ペタ
- **E** - エクサ
- **Z** - ゼッタ
- **Y** - ヨッタ

使用例

適切なサフィックスを使用することによって、トリガー条件式をより理解しやすく、メンテナンスしやすく書くことができます。例えば次の条件式:

```
{host:zabbix[proxy,zabbix_proxy,lastaccess]}>120  
{host:system.uptime[.last(0)]<86400  
{host:system.cpu.load.avg(600)}<10
```

は、以下のように変更できます:

```
{host:zabbix[proxy,zabbix_proxy,lastaccess]}>2m  
{host:system.uptime.last(0)}<1d  
{host:system.cpu.load.avg(10m)}<10
```

本ページは2013/05/04時点の原文を基にしておりますので、内容は必ずしも最新のものとは限りません。最新の情報は右上の「[Translations of this page](#)」から英語版を参照してください。

From:

<https://www.zabbix.com/documentation/2.0/> - **Zabbix Documentation 2.0**

Permanent link:

<https://www.zabbix.com/documentation/2.0/jp/manual/config/triggers/suffixes>

Last update: **2014/09/26 11:22**

